

## 2 山城地域振興計画

### (1) 今後の課題

#### 今後の課題 1

#### 府域全体の発展を牽引する山城エリアの 整備・開発プロジェクトの着実な推進

- 北陸新幹線敦賀・大阪間のルート決定(松井山手付近に新駅)、新名神高速道路城陽 JCT・IC～八幡京田辺 JCT・IC 間の開通(2023 年度、全線(大津～高槻間)開通予定)、JR 奈良線の高速化・複線化第二期事業(2022 年度開業予定)等、複数の大規模プロジェクトが進行している。
- 城陽市東部丘陵地における西日本最大級のアウトレットモールや京田辺市、城陽市における新たな大型物流施設等の活発な施設立地の動きが続き、今後、企業、商業施設、研究機関、工場等の立地が加速する見通しであり、けいはんな学研都市では用地が不足する等の状況も見られる。
- 有効求人倍率が府全体では上昇を続けており、2017 年 12 月には宇治管内において府全体の値を超える 1.90 となる等、人手不足の状況が強まっている。
- 京都認知症総合センターの整備(2018 年 3 月)をはじめとする福祉向上やハード、ソフト両面からの自然災害に強いまちづくりを推進している。

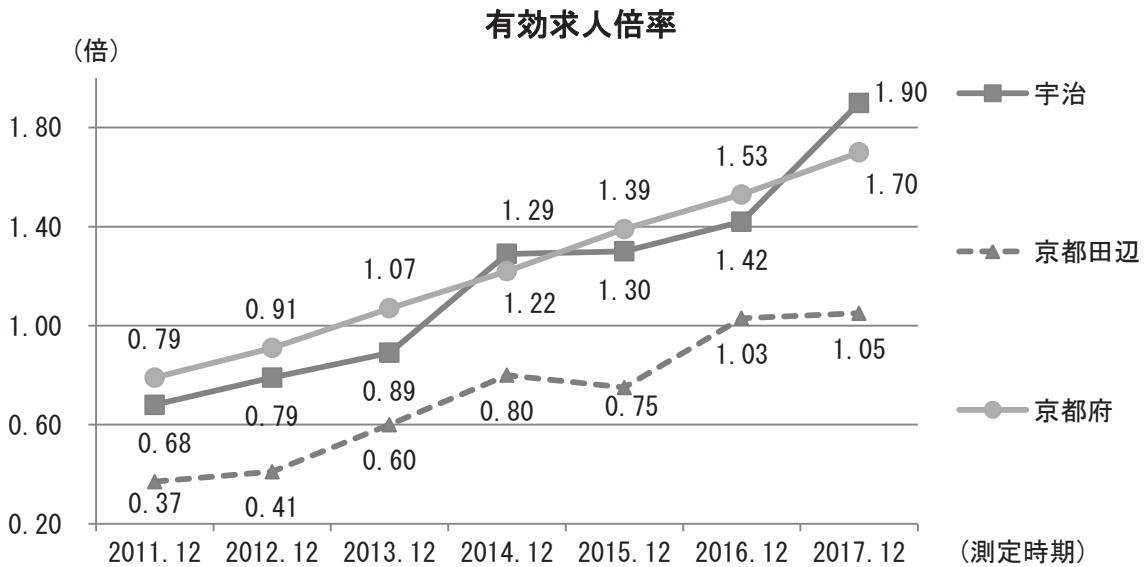
#### 【課題】

#### ☆各種プロジェクトの推進及び新たなまちづくりへの支援

整備・開発に加え、福祉、防災等を含む各種プロジェクトを着実に推進し、その効果を活かしたさらなる地域活性化を図るとともに、市町村における新たなまちづくりの動きを支援することにより、府南部地域全体に効果を波及させ、ひいては府域全体の発展の牽引につなげていく必要がある。

#### ☆人材確保、労働生産性向上及び地域を支える人づくりの推進

深刻な人手不足の状況を踏まえ、特に中小企業をはじめとする人手不足分野での人材確保や IoT、AI をはじめとする新技術の活用等により労働生産性向上を図るとともに、長期的視点に立ち、地域の発展を支える人づくりのために、少子化対策をはじめ幅広く取り組んでいく必要がある。

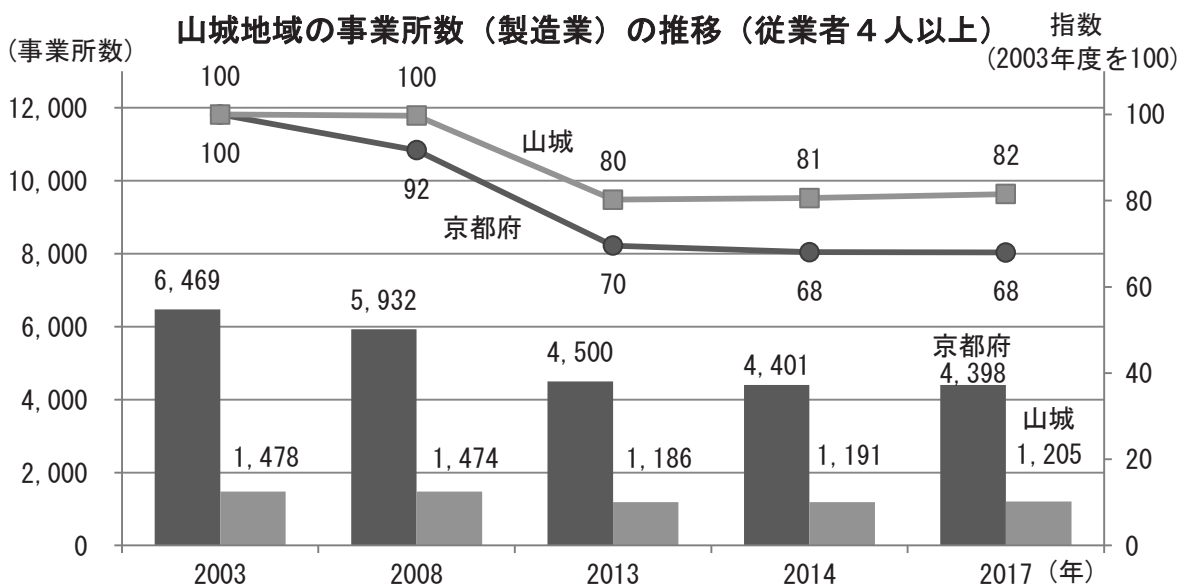


資料：京都府内の公共職業安定所別有効求人倍率の状況（京都労働局） ◆統計データ

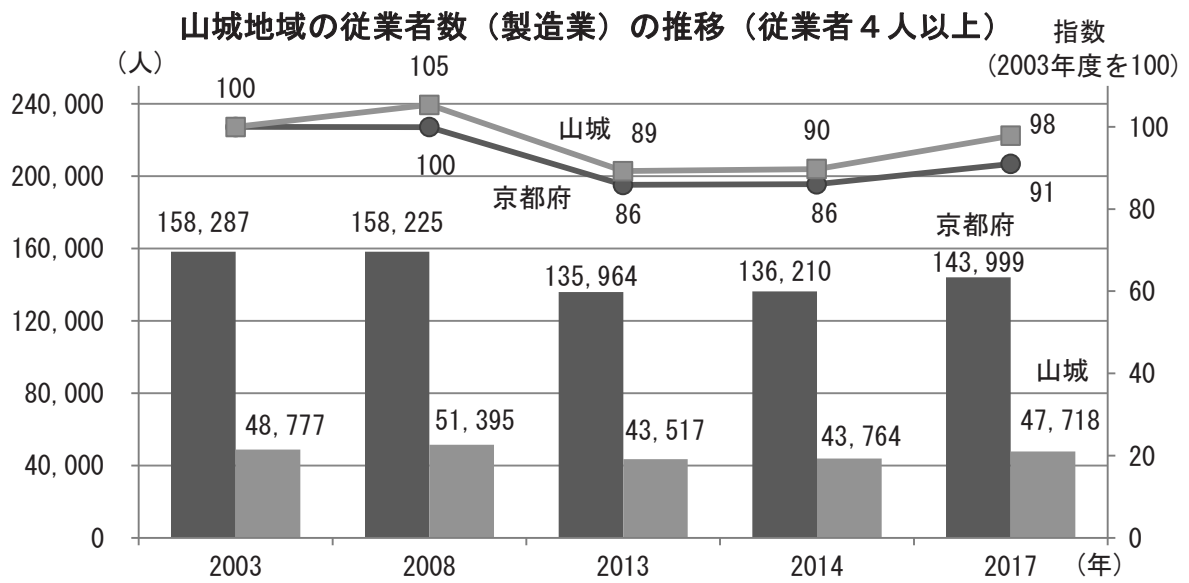
### 山城地域の企業立地状況

年度		2014	2015	2016	2017
企業数 (件)	山城	18	12	14	6
	京都府	39	22	20	13
シェア (山城/京都府)		46%	55%	70%	46%

資料：工場立地動向調査（経済産業省）、京都府調べ ◆統計データ



資料：工業統計調査（経済産業省） ◆統計データ



資料：工業統計調査(経済産業省) ◆統計データ

「お茶の京都」「かぐや姫観光」等による持続的な地域振興

- 2017年度は、ターゲットイヤーであった「お茶の京都博」とその関連イベントの開催や全国への情報発信、乙訓地域でも「京都・かぐや姫観光」によるにぎわい創出の取組を進めたことにより、乙訓を含む山城地域の観光入込客数、観光消費額は過去最高(1,493万人、231億円)となった。
- 1人当たりの消費額についても増加しているが、京都市域と比較すると10分の1以下の水準にとどまっている。

【課題】

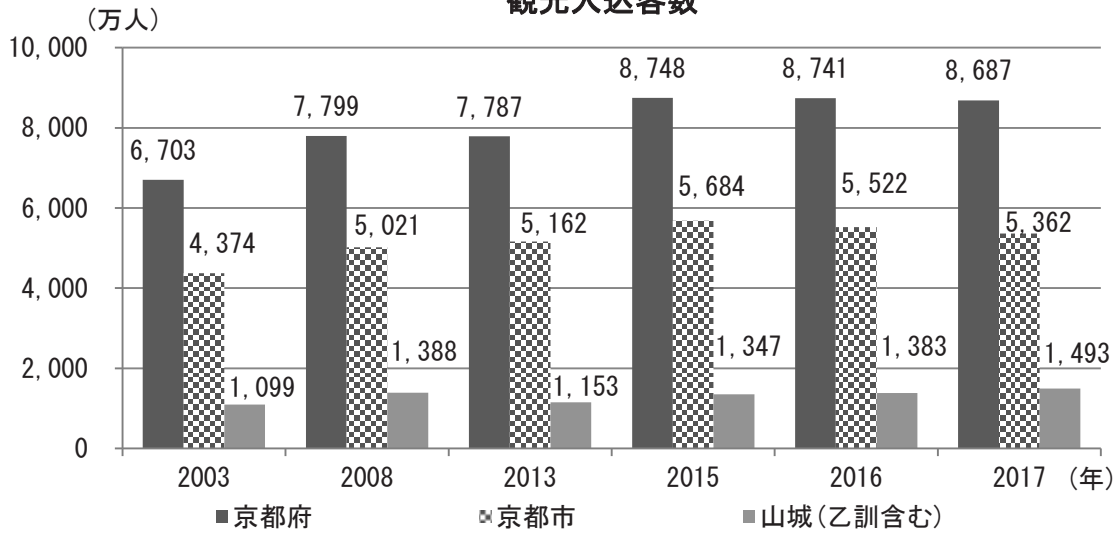
☆「お茶の京都」の地域資源の魅力向上及び発信強化

ターゲットイヤーに146万人の来場を実現した「お茶の京都」の取組を一過性に終わらせることなく、地域全体での持続的な交流人口拡大、消費拡大につなげていくため、宇治茶のさらなる市場開拓に加え、山城ならではの新たな食材発掘等、地域資源の魅力向上や発信強化などを図り、お茶の京都DMOとも連携し、長期・発展・継続的なものにスケールアップしていくことが必要である。

☆「かぐや姫観光」による観光誘客の推進及び消費の拡大

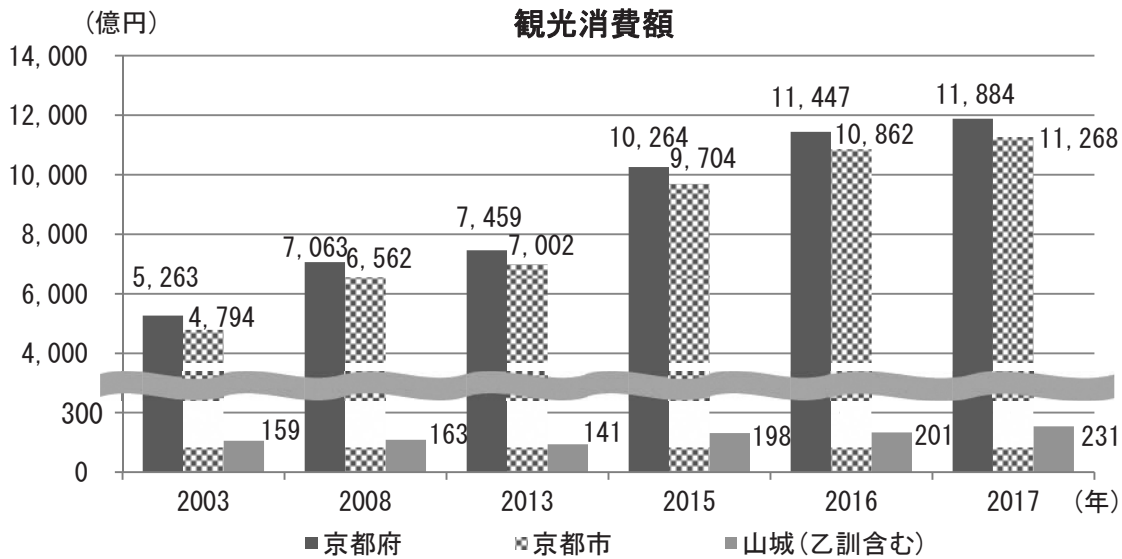
乙訓地域では、歴史、文化など多様な資源を最大限活用した広域観光等の展開により、さらなる観光誘客を図るとともに、消費に結びつけることが必要である。

### 観光入込客数



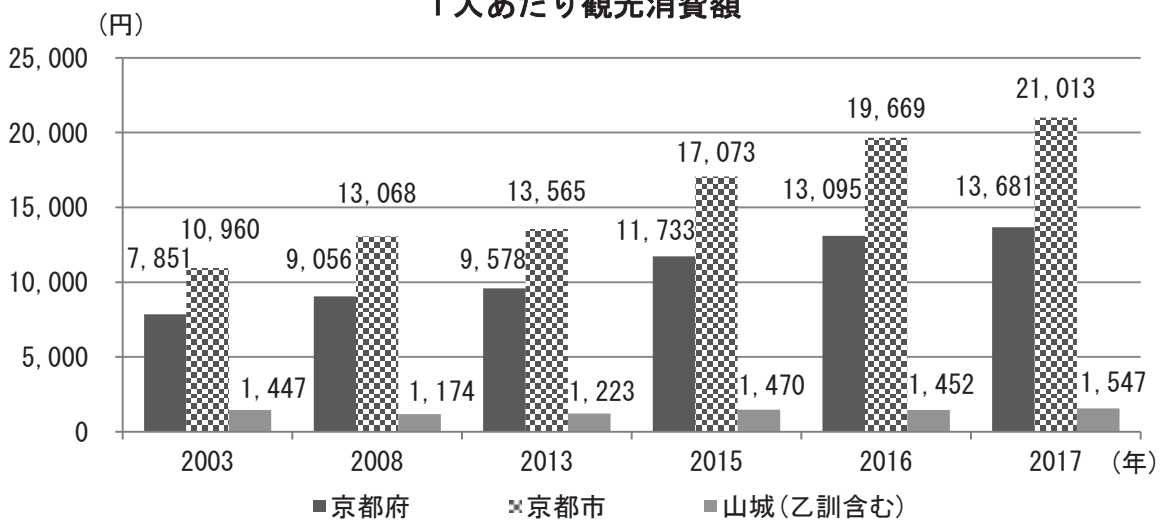
資料：京都府観光入込客調査 □ 施策指標

### 観光消費額



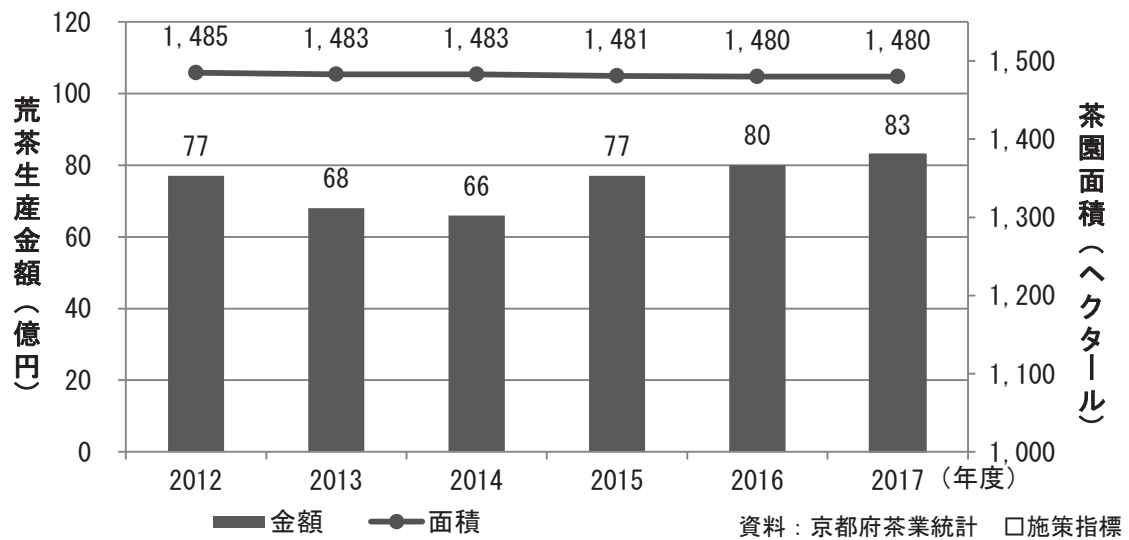
資料：京都府観光入込客調査 □ 施策指標

### 1人あたり観光消費額



資料：京都府観光入込客調査 □ 施策指標

### 茶園面積、荒茶生産金額の推移



相楽東部の未来づくり  
～豊かな自然を活かした新たな交流の場を創出～

- 府と相楽東部3町村が共同して地域振興、交流人口・定住人口の拡大につながる取組を積極的に展開するため、2017年に「相楽東部未来づくりセンター」を設置した。
- 相楽東部地域では、人口減少、高齢化に歯止めがかからない状況の中、がん対策をはじめとする生涯を通じた健康づくりや、地域と連携した安心して子育てできる環境づくりを推進するとともに、「京都府移住の促進のための空家及び耕作放棄地等活用条例」に基づく移住促進特別区域の指定や「移住呼びかけ人」が活発な活動を続けており、3町村への移住者が増加している。
- 道の駅「お茶の京都 みなみやましろ村」のオープン、星野リゾート等の新たな宿泊施設やきのこ生産工場の進出等、地域の消費や雇用に明るい動きが見られる。
- コワーキングスペース開設等、地域の特性を活かして都市部の住民に新たなライフスタイルを提案する動きが出ている。

**【課題】**

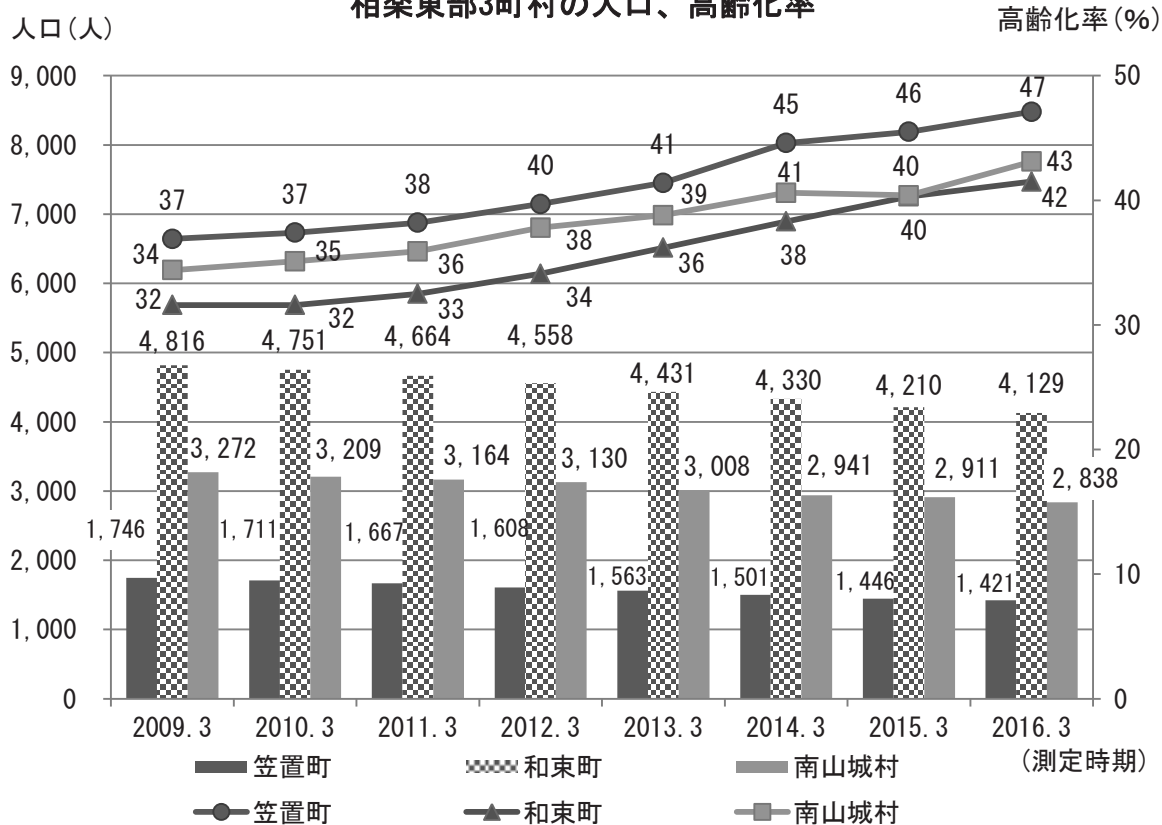
**☆魅力あるコンテンツの具体化**

相楽東部未来づくりセンターが牽引役となり、豊かな自然を活かして魅力あるコンテンツを具体化し、関西圏に加えて中部圏の都市部に向けて発信し、さらなる交流人口を呼び込むことが必要である。

**☆新たな取組による移住・定住の促進**

コワーキングスペースを活用した新たな取組等とも連動しながら、交流人口をターゲットとする消費の場を地域内に創出することで、地域に雇用を生み出し、移住・定住につなげていくことが必要である。

### 相楽東部3町村の人口、高齢化率



資料：京都府介護保険制度の実施状況 ◆統計データ

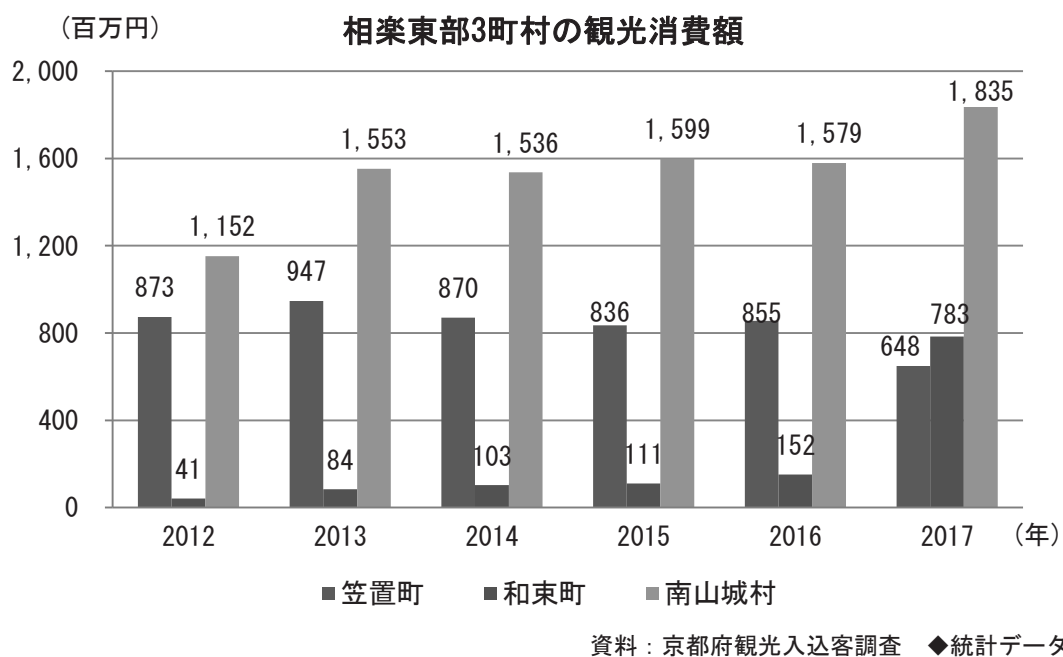
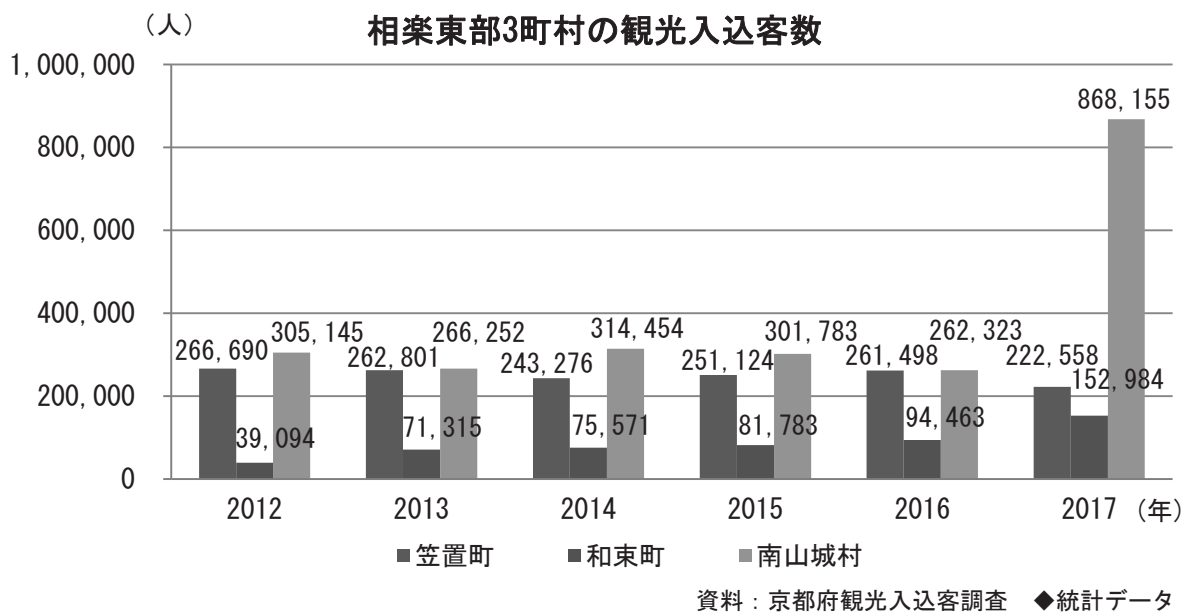
### 相楽東部3町村への移住者数

(人)

年度	2014	2015	2016	2017
笠置町	9	4	2	3
和束町	0	11	5	5
南山城村	2	14	18	27
合計	11	29	25	35

資料：京都府調べ □施策指標





(2) 地域振興計画関連指標（数値目標） 2017年(度)進捗状況

〔進捗率の算出方法〕

- ①数値目標が「増加」の方向をめざしている場合  

$$\text{進捗率}(\%) = (\text{当該年(度)実績値} - \text{基準値}) / (\text{数値目標} - \text{基準値}) * 100$$
- ②数値目標が「減少」の方向をめざしている場合  

$$\text{進捗率}(\%) = (\text{基準値} - \text{当該年(度)実績値}) / (\text{基準値} - \text{数値目標}) * 100$$

	単位	基準値（基準年）	数値目標（目標年）	2016年(度) ベンチマーク レポート 実績値(A)	2017年(度) ベンチマーク レポート 実績値(B)
<b>山城地域振興計画</b>					
1	%	82 (2014年度末)	100 (2018年度末)	100	100
2	%	71 (2014年度末)	100 (2018年度末)	71	71
3	%	95 (2014年度末)	100 (2018年度末)	100	100
4	%	80 (2014年度末)	100 (2018年度末)	80	83
5	%	0 (2014年度末)	100 (2018年度末)	0	50
6	%	65 (2014年度末)	100 (2018年度末)	100	100
7	%	89 (2014年度末)	100 (2018年度末)	100	100
8	%	2 (2014年度末)	90 (2018年度末)	5	5

- 注1) 進捗率が計算不能となるもの(例: 数値目標=増加)等については「-」と記載した  
 注2) 「参考年間目標達成状況」欄は、参考年間目標を上回った指標を「○」と記載した  
 注3) 調査未実施・結果未公表等の理由で2016、2017年(度)実績値が記載できないものについては、備考欄に記載値の当該年(度)を記載した

進捗率 (%)	参考 年間目標 達成状況	数値変動の要因及び今後の取組内容	備考
100.0	○	2015年度に達成した。 引き続き、上流域において砂防事業を実施する。	天井川区間
0		南部豪雨災害関連河川について、被災状況に応じて順次改修を進めてきたところであり、戦川についてはJR奈良線複線化事業と整合を図りつつ改修を進めている。 今後、用地買収、橋梁架け替え工事等を進める。	
100.0	○	2015年度に達成した。 引き続き、上流域において流木災害防止事業を実施する。	
15.0		関係機関協議等に基づき工法を変更した結果、事業期間の延伸が必要となった。 引き続き、用地買収及び橋梁架け替え工事、護岸工事を進める。	
50.0	○	2017年度の参考年間目標を達成し、2018年度には数値目標を達成予定である。	
100.0	○	2016年度に達成した。 引き続き、先線の都市計画道路内里高野道線の整備を実施する。	
100.0	○	2015年度に達成した。	
3.4		鉄道の営業を続けながら、橋梁等を築造する必要があるため、工法検討を慎重に行ったため、低進捗となった。 今後は、立体交差化に係るJR等との調整や詳細設計、府道通行止に係る関係機関等調整を行う。	

		単位	基準値（基準年）	数値目標（目標年）	2016年（度） ベンチマーク レポート 実績値（A）	2017年（度） ベンチマーク レポート 実績値（B）
9	JR奈良線の高速化・複線化関連（京都宇治線「黄檗門前踏切付近」）	%	78（2014年度末）	100（2018年度末）	89	100
10	JR奈良線の高速化・複線化関連（上狛城陽線「玉水駅」）	%	5（2014年度末）	70（2018年度末）	15	23
11	「宇治茶GAP」実践農家率	%	0.0（2013年度）	100（2018年度）	68	50
12	急峻（しゅん）な茶園の改修面積（延べ）	ha	—（2014年度）	10（2018年度）	工事	工事
13	荒茶生産額	億円	68（2013年度）	77（2018年度）	80.0	83.0
14	観光入込客数	万人	1,153（2013年）	1,730（2018年）	1,383	1,493
15	観光消費額	億円	141（2013年）	280（2018年）	201	231
16	観光客の1人当たり消費額	円	1,223（2013年）	1,600（2018年）	1,452	1,547
17	企業訪問活動を強化し、企業づくりのサポートを実施（年間）	社	4,099（2013年度）	4,500（2018年度）	4,406	4,440

進捗率 (%)	参考 年間目標 達成状況	数値変動の要因及び今後の取組内容	備 考
100.0	○	2017年度に達成した。	
27.7		2017年度までに土地開発公社により全用地の先行取得が完了しており、今後、JR奈良線複線化事業と整合を図りつつ、用地再取得及び工事を進めていく。	
49.6		実践農家数を増やすべく研修等の取組を実施しているところであり、引き続き実践農家数増加に向けた取組を継続していく。	
—		2018年度からの全面工事に先立ち、沈砂池等防災関連工事や地元調整等を実施した。 2018年度早期に着工し、2019年度内の工事完了を目指す。	
166.7	○	煎茶からてん茶への転換に際し、ハード整備はもとより、栽培や製茶技術の支援を行い、生産量・額とも増加した。 引き続き、実需ニーズに答えられるよう、支援を行う。	
58.9		お茶の京都博開催等により、南部の観光入込客数は増加しているものの、新たな旅行商品や特産品の開発が途上にある。 今後はお茶の京都DMO等と連携し、タクシー周遊プラン、ダムツアーなど、地域コンテンツを活用した観光商品を造成し、京都市内に滞在している観光客が南部に周遊する仕掛けづくりを進める。	
64.7		お茶の京都博開催等により、南部の観光入込客数は増加しているものの、新たな旅行商品や特産品の開発が途上にある。 今後はお茶の京都DMO等と連携し、タクシー周遊プラン、ダムツアー、特産品を使ったスイーツなど、地域コンテンツを活用した広域周遊プランの提案により、滞在型の観光商品の需要喚起を図る。	
85.9		お茶の京都博開催等により、南部の観光入込客数は増加しているものの、新たな旅行商品や特産品の開発が途上にある。 今後はお茶の京都DMO等と連携し、体験型コンテンツの発掘や、広域周遊プランの提案により、滞在型観光商品の需要喚起を図ることで、地域での消費額アップにつなげる。	
85.0	○	景気は回復傾向にあるが、人手不足や経営者の高齢化等の課題があることから、管内商工会・商工会議所と連携し、各種支援制度の利用促進を図った結果、参考年間目標を上回った。 企業毎の経営課題にきめ細かく対応できるよう、中小企業応援隊との連携をさらに強化し、巡回・訪問活動を進める。	

		単位	基準値（基準年）	数値目標（目標年）	2016年(度) ベンチマーク レポート 実績値(A)	2017年(度) ベンチマーク レポート 実績値(B)
18	経営革新やステップアップに取り組む企業をサポートし、中小企業応援条例に基づく「元気印」や「知恵の経営」等の認定企業数を拡大（年間）	社	16（2013年度）	20（2018年度）	14	26
19	京やましろ新鮮野菜の年間販売額	億円	0.5（2013年度）	3（2018年度）	20.9	21.4
20	ブランド京野菜の年間販売額	億円	0.5（2013年度）	1（2018年度）	1.4	1.4
21	農産物直売所の販売金額	億円	10.5（2013年度）	15（2018年度）	11.7	14.0
22	農業における新規就農・就業者数（年間）	人	19（2014年度）	35（2018年度）	19	34
23	農山村へ移住した都市住民等の人数	人	2（2013年度）	20（2018年度）	25	67
24	ニホンザルによる農作物被害金額の半減	万円	2,600（2013年度）	1,300（2018年度）	1,539	1,387
25	府民、企業、団体、NPO、大学等が連携して森林づくりに取り組むモデルフォレスト運動への延べ参加者数	人	827（2013年度）	2,000（2018年度）	1,570	1,898
26	出生数増	人	5,482（2013年）	+500以上（2018年）	-89	-146
27	保育所待機児童数	人	11（2013年度）	0（2018年度）	52	218

進捗率 (%)	参考 年間目標 達成状況	数値変動の要因及び今後の取組内容	備 考
250.0	○	景気が回復傾向にある中、新製品の開発等の取組の増加と相まって新規認定数が増加した。 中小企業応援隊との連携を進め、訪問活動等を通じ、企業の新たな事業活動を支援することで、認定企業拡大に取り組む。	
836.0	○	たけのこ、聖護院だいこんといった新たな品目を追加し、築地市場をはじめとした首都圏での販売促進を展開したことで出荷が増加した。 一般野菜である茄子も取り込み、品目数の拡大を図る。	
180.0	○	九条ネギの出荷調整工場の新設により出荷量が増加した。 今後は、出荷調整工場の利用効率改善による出荷量のさらなる拡大を図る。	
77.8	○	秋の台風や長雨などの影響で、野菜の生育が遅れ、売上の伸びが鈍化した。 引き続き、地域食材の発掘や京やましる産食材提供店とのマッチングを進め、販売額の増加を図る。	
93.8	○	若者の就農相談とともに、退職帰農者も含めた就農対策を推進し、農業者の確保に努める。	
361.1	○	府と各市町村の移住促進施策により移住者が増加した。	
93.3	○	金網や電柵の設置などハード対策の充実により、被害金額は減少しつつある。 引き続き、地域住民によるニホンザルの追い払いや市町村の有害捕獲等により、さらなる被害の軽減を図る。	
91.3	○	2016年の全国育樹祭の開催により、モデルフォレスト運動への企業等の理解が進んだ。 引き続き、管内各種イベントで広く企業や府民へ運動への参加を呼び掛け、参加者数の増加を図る。	
-29.2		15歳～49歳の女性人口の減少もあり、出生数は減少した。 引き続き、産前・産後ケアの広域支援を充実させるとともに、若い世代の移住者などを対象とした少子化対策を強化していく。	(A)2015年度実績 (B)2016年度実績
-1,881.8		子育て世帯の転入増加、保育士不足等の要因により、待機児童数が増加した。 待機児童解消に向け、保育人材の確保や保育所、認定こども園、地域型保育事業の整備等を市町村とともに取り組んでいく。	

		単位	基準値（基準年）	数値目標（目標年）	2016年(度) ベンチマーク レポート 実績値(A)	2017年(度) ベンチマーク レポート 実績値(B)
28	児童虐待未然防止に関する協力医療機関（産科病院・診療所）の数	か所	10（2013年度）	20（2018年度）	22	24
29	障害者支援事業所が生産する農産物の納入福祉施設の数	施設	0（2013年度）	10（2018年度）	10	10
30	山城地域の認知症カフェ設置市町村数	市町村	7（2013年度）	全15（2018年度）	15	15
31	地域力再生プロジェクト支援事業交付金で支援する高齢者に対する共助型福祉の取組（延べ）	件	5（2013年度）	25（2018年度）	15	17
32	がん検診を受診する人の割合（胃がん）	%	35.9 (7.3)（2013年度）	50（2018年度）	38.3	38.5
33	がん検診を受診する人の割合（肺がん）	%	39.1 (16.0)（2013年度）	50（2018年度）	38.2	38.8
34	がん検診を受診する人の割合（大腸がん）	%	39.2 (21.0)（2013年度）	50（2018年度）	41.8	40.1
35	がん検診を受診する人の割合（乳がん）	%	39.6 (23.1)（2013年度）	50（2018年度）	40.4	39.6
36	がん検診を受診する人の割合（子宮がん）	%	32.4 (25.2)（2013年度）	50（2018年度）	31.0	30.7



進捗率 (%)	参考 年間目標 達成状況	数値変動の要因及び今後の取組内容	備 考
140.0	○	医療機関への働きかけ、研修会の開催などにより順調に増加しており、引き続き取組を進めていく。	
100.0	○	モデル事業の実施により、納入施設は増加し、数値目標を達成した。 引き続き、共同直売所の出張販売の売り上げ増加を目指す。	
100.0	○	府保健所の地域包括ケア推進ネットによる支援をはじめ、市町村の積極的な取組により数値目標を達成した。 運営中のカフェの質の向上とともに、日常生活圏域に1カ所以上の設置を目指し、引き続き市町村を支援する。	
60.0		担い手の高齢化が進む中、制度の周知により取組が増加した。 各種説明会等で取組事例を紹介し、積極的に支援を呼びかける。	
18.4		がん検診が面倒であるという認識等により、受診率が伸び悩んだ。 引き続き、市町村、企業、各種団体等とも協働しながら啓発活動に取り組んでいく。	(A) 2015年度実績 (B) 2016年度実績
-2.8		がん検診が面倒であるという認識等により、受診率が伸び悩んだ。 引き続き、市町村、企業、団体等とも協働しながら啓発活動や、コンビニでの検診に取り組んでいく。	(A) 2015年度実績 (B) 2016年度実績
8.3		がん検診が面倒であるという認識等により、受診率が伸び悩んだ。 引き続き、市町村、各種団体との協働による啓発活動強化に取り組んでいく。	(A) 2015年度実績 (B) 2016年度実績
0		がん検診が面倒であるという認識等により、受診率が伸び悩んだ。 引き続き、市町村、企業、各種団体等とも協働しながら啓発活動に取り組んでいく。	(A) 2015年度実績 (B) 2016年度実績
-9.7		がん検診が面倒であるという認識等により、受診率が伸び悩んだ。 引き続き、市町村、企業、各種団体等とも協働しながら啓発活動に取り組んでいく。	(A) 2015年度実績 (B) 2016年度実績

		単位	基準値（基準年）	数値目標（目標年）	2016年（度） ベンチマーク レポート 実績値（A）	2017年（度） ベンチマーク レポート 実績値（B）
	大規模排出事業者の温室効果ガス排出削減率	%	—（—）	平均年 2%削減（2018年度）	—	—
37	山城地域で実施される各種文化事業への参加者数	万人	18（2013年度）	21（2018年度）	23.6	32.9
38	子育て・親育ち講座等の参加人数	人	607（2013年度）	800（2018年度）	760	790

進捗率 (%)	参考 年間目標 達成状況	数値変動の要因及び今後の取組内容	備 考
—		<p>2017年度には3事業場に立入調査し、同行したアドバイザーから削減指導を行った。 今後とも、前年度よりも排出量が増加した事業場へ個別に立入調査を実施し、排出量削減指導を実施する。</p>	計画終了時に判定
496.7	○	<p>国民文化祭で育まれた山城地域の文化イベントを「やましろ文化祭」としてホームページで紹介し、参加者も順調に増加した。 今後とも、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた「京都文化カプロジェクト2016-2020」に向けた機運盛り上げと併せて、文化事業への参加人数の拡大を図る。</p>	
94.8	○	<p>講座案内のパンフレットを新たに作成し、様々な研修会や行事で配布するなど周知に努めた結果、参加人数が増加した。 関係機関との連携をさらに進め、親育ちを応援する学びの機会を充実していく。</p>	

### (3) 前年度の課題に対する対応状況

ベンチマークレポート [2017年9月] の「今後の課題」について、2018年度当初予算、6月補正予算で計上した主な事業は次のとおり

#### 山城地域振興計画

今後の課題	主な事業等
<b>(1) 新幹線、新名神、JR奈良線複線化等のポテンシャルを活かした産業の活性化</b>	
☆ダイナミックな高速交通網のハブ機能を活かした京都イノベーションベルトの拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道307号(市辺～奈島、宇治田原山手線)、東中央線(木津川市)の整備</li> <li>・JR奈良線の高速化・複線化第二期事業</li> </ul>
☆人口減少を踏まえた人材確保対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やましろ産業パワーアップ事業</li> <li>・京やましろ農業活性化プロジェクト</li> </ul>
☆京都認知症総合センター(仮称)の整備支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山城「地域包括ケア」推進事業</li> </ul>
☆災害に強いソフト・ハード双方の防災対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害からの安心・安全事業</li> </ul>
<b>(2) 「お茶の京都」、「かぐや姫観光」等による地域づくりの推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」に関わる山城地域のさまざまな有形無形の資産価値の国内外への発信</li> <li>☆滞在型宿泊施設の誘致</li> <li>☆お茶を中心とした総合産業化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お茶の京都」をキーワードとした持続的な地域づくりの推進</li> </ul>
☆「お茶の京都」や「竹の里・乙訓」かぐや姫観光による大交流圏の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「竹の里・乙訓」かぐや姫観光の推進</li> <li>・周遊・体験型観光による観光消費額倍増プロジェクト</li> </ul>
☆農福連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児・者に対する地域生活支援</li> </ul>
<b>(3) 相楽東部の未来づくり ～相楽東部・木津川右岸エリアで新たなライフスタイルを実現～</b>	
☆相楽東部地域の将来の姿を見据えたエリアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相楽東部活性化推進事業</li> <li>・京都移住促進プロジェクト事業</li> <li>・国道307号(宇治田原山手線)、宇治木屋線(犬打峠)の整備</li> <li>・地域コミュニティ子育て支援広域化事業</li> </ul>